

冬の交通を守る 除雪車両を紹介します!



除雪ドーザ (5トン)

車体前方に備え付けてある鉄製の「プラウ」を使って除雪作業を行います。とても力持ちで、道路に積もった重い雪をかき分け、拡幅のほか路肩へのかき寄せ作業など効率の良い作業を行うことができます。

除雪ドーザ (5トン) スペック

車両総重量：5.5トン
全 長：5.4m
全 高：3.1m
作業時間：燃料満タンから約12時間の作業が可能
そ の 他：最新型では、低燃費・低騒音へと改良されています



プラウを油圧の力でとても高くまで持ち上げることができ、除雪の際の「かき寄せ」に力を発揮します。



運転席

約3mの高さから周り一帯を見渡すことができます。ただ、構造上見えづらい箇所もあるため、接近する場合には注意しましょう。



タイヤ

直径は約1m。除雪作業時にはチェーンを巻き、凍った雪道でも力強く走ることができます。



プラウ

新雪であれば一度に積雪1m未満、幅は約2.7mの除雪が可能です。また、路面の傾斜にも対応した除雪を行えます。

雪下ろし費用の一部を助成します

積雪による住居の倒壊や損傷を防止するため、市では次の世帯などに対して、除雪（雪下ろし）費用の一部を助成しています。

○対象世帯 平成26年度市民税の所得割が課せられていない世帯で、次のいずれかに該当する世帯

- ①65歳以上の方のみの世帯および65歳以上の方と18歳未満の方のみの世帯
- ②母子および父子・寡婦世帯
- ③生計の中心となる方が心身障がい者である世帯
- ④生活保護は受けていないが、保護を必要とする状態にある世帯

※市内および近隣市町村にいる扶養義務者（子や兄弟など）から援助が見込める場合や、扶養義務者が雪下ろしをした場合は、補助対象になりません。

○補助対象 屋根に、おおむね70cm以上積雪した場合の雪下ろしにかかった費用

○申請方法など 申請書が必要な方は、福祉課までご連絡ください。なお、申請書などには、民生委員の確認印が必要になります。ご不明な点はお問い合わせください。



問申 福祉課厚生保護係 ☎ (22) 2111 (内線255)

問申 地域振興課市民生活係(豊田支所内) ☎ (38) 3111 (内線132)

冬期間中の注意点を再確認しましょう！

冬期間中はさまざまな事故が起こりやすくなります。
次の点を再確認して、冬に備えましょう。

チェック



水道管も冬支度を

凍結による破裂に注意しましょう



水は気温がマイナス4度以下になると凍る性質があり、冬期間は、凍結による「水道管の破裂」や「水が出ない」などの事故が起こりやすくなります。

水道管の立ち上がりに、保温材や保温器具（凍結防止帯はコンセントを確認）の使用や、不凍栓を閉めて蛇口から水抜きを行うなど、凍結を防ぎましょう。



水抜きを！

なお、不凍栓によっては、管理方法を誤ると漏水する恐れがありますので十分に注意いただき、バルブは最後までしっかりと閉めましょう。

問 水道管など工事・修理に関すること

上下水道課 水道係 ☎(22)2111 (内線282)

問 開栓・閉栓・検針、上下水道料金に関する事

上下水道課営業係 ☎(22)2111 (内線284)

問 灯油漏れに関する事

環境課環境係 ☎(22)2111 (内線247)

中野消防署 ☎(23)0119

豊田消防署 ☎(38)2355

北信地方事務所環境課 ☎(23)0202

検針にご協力をお願いします



水道メーターの検針は、2カ月に一度、1日から8日の間に行いますが、冬期間は積雪などで検針ができない場合があります。できる限りメーターボックス上の除雪をお願いします。

また、メーターの確認が困難な場合は、認定水量（過去の使用量を参考にして決める水量）で検針したものとみなしてお知らせします。

検針（認定水量）の結果は、「上下水道使用量のお知らせ」で通知しますので、ご確認ください。なお、水道管が破裂して漏水した場合も、水道料金は使用者の負担となりますので、月に1回はメーターの確認をお願いします。



質問Q&A



Q アパートに住んでいる場合は、どうすればいいの？

A アパートなどにお住まいの方は、寒くなる前に、冬の管理方法を大家の方または不動産業者に確認して、凍結対策を行いましょ。それでも凍結した場合は、大家の方または不動産業者にご相談ください。



Q 緊急（破裂・漏水）工事の連絡先は？

A 水道工事の依頼先が分からない場合や、休日（年末年始）に自宅の水道施設に障害が発生した際は、次の

チェック



ホームタンクからの油漏れに注意しましょう

冬期間は、ホームタンクからの灯油漏れが多発します。油が河川に流出すると、被害が広範囲に及ぶとともに、処理に多くの時間と多額の費用が掛かります。また、処理費用は、原因者の負担となりますので注意してください。



油漏れ事故を防ぐために



ホームタンクで灯油などを貯蔵しているご家庭では次の点に注意しましょう

- ◎ 灯油の小分け作業中は、絶対にその場を離れないようにしましょう。
- ◎ 器具や配管に腐食、亀裂がないか確認しましょう。
- ◎ 定期的にホームタンクの残量を確認しましょう。
- ◎ 流出事故防止のため、防油堤を設置しましょう。

※ 灯油などを流出させてしまったときは、速やかに連絡をお願いします。